

## 施策評価調書(27年度実績)

施策コード I-4-(2)

政策体系	施策名	循環を基調とする地域社会の構築	所管部局名	生活環境部	長期総合計画頁	51
	政策名	恵まれた環境の未来への継承～おおいたうつくし作戦の推進～	関係部局名	生活環境部、商工労働部、土木建築部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	廃棄物の減量化・再資源化と適正処理の推進	大気・水環境対策の推進	県民総参加による豊かな水環境の創出

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		27年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i	①	H25	415,962	409,798 (H26)	416,126 (H26)	98.5%	385,142 (H30)	372,813 (H35)						
ii	②	H25	78.8	89.4 (H26)	97.0 (H26)	108.5%	92.4 (H30)	96.9 (H35)						

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	概ね達成	住民啓発、地域活動の浸透等により、目標値を概ね達成した。なお27年度実績が29年3月公表のため、27年度の目標値と実績値は26年度の数値を記載している。	達成
ii	達成	工場・事業場への排水監視や生活排水処理率等の向上により汚濁負荷は改善されてきており、目標値を達成した。なお、27年度実績が未確定のため、27年度の目標値及び実績値は26年度の数値を記載している。	

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回監視やスカイパトロールの実施に加え、新たに不法投棄防止用フェンスを設置し、産業廃棄物の不法投棄・不適正処理防止対策の強化を図った。</li> <li>・「大分県災害廃棄物処理計画」の策定や災害時応援協定の締結など、市町村や関係団体との連携強化を図った。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質汚濁防止法等に基づく第7次水質総量削減計画に基づき、水質の向上に努めた。水生生物調査において、水質階級Ⅱ以上(比較的きれいな水)の地点の割合が9割を超えている(H26:95.5%)</li> <li>・PM2.5成分分析機器を整備し、PM2.5の発生源推定に資するための成分分析を行う体制が整った。</li> <li>・関係市町と意見交換や情報共有を図る検討会を年3回開催し、関係市町が実施する合併処理浄化槽の普及啓発活動を支援した。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流域代表者の交流を図る場を設定し、それぞれの流域での取組など情報交換を行った。</li> </ul>

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
①	産業廃棄物処理施設周辺環境対策事業	20,252	A	継続・見直し	75
	循環型環境産業創出事業	74,052	A	継続・見直し	108
②	大気環境監視推進事業	63,454	A	継続・見直し	73
	生活排水処理施設整備推進事業	397,071	A	継続・見直し	164
③	豊かな水環境創出事業	20,011	A	継続・見直し	74

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第1回大分県新長期総合計画策定県民会議 (H27.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水環境の向上のためには、県や市等の境を越える関わりが重要ではないか。</li> </ul>	
---	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レジ袋削減の取組は、県民に一層の理解が得られるように、引き続きマスメディア等を活用した県民向けの普及啓発を推進する。</li> <li>・制度創設から3年目を迎える「おおいた優良産廃処理業者評価制度」の検証を行い、更なる制度の充実や普及を図る。</li> <li>・従来からの監視活動に加え、無人航空機(ドローン)の活用など、廃棄物の不法投棄監視体制の強化・効率化を図る。</li> <li>・おおいたうつくし海岸クリーンアップ作戦の展開など、県民の海岸環境意識の醸成を目指す。</li> <li>・PM2.5の発生源推定に資するためPM2.5成分分析を実施し、その結果に基づき地域における特定の発生源への対策を実施する。</li> <li>・豊かな水環境を創出するため、モデル河川における地元住民の主体的な活動を支援する。</li> <li>・「豊かな水環境づくりフォーラム」や「つながる！豊かな水キャンペーン」を実施し、水環境保全意識の醸成、地域間連携と地域活性化を図る。</li> </ul>